



走ったあと富里スイカで、のどをうるおす



中には走ったり食べ
たりの忙しい選手も



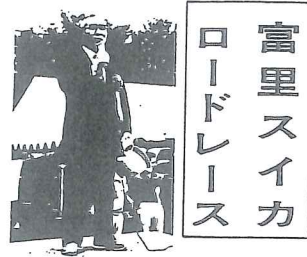
見物の坊やにもおすそ分け

(7)

走るより食べる方が?



賞品のスイカに思わずニコリ



あいさつする三浦市長

富里スイカ ロードレース

富里市陸上競技会主催のロードレース大会が、八月二十四日(土)の夕方、往年の名選手でボストン・マランの選手、山田賢蔵さん(56歳)をはじめ関係者約千五百十八人が参加して、熱戦が展開されました。

コースは十八、二十五、三キロの四コース、十部別で競われ、役員隊を出発し、画面、葉山などスイカ畑を横に見ながら富里中のゴールを目指して走り続けました。

途中の給水所では、水がわりに富里特産のスイカで水分を補給する光景がみられました。なかには立ち止まって「これを食入なくてはだした」と何個もほおぼぼしている選手もいました。またゴールの富里中グラウンドでもゴールした選手が取りだすスイカで、のどをうるおしていました。

健闘した千位までの選手にもスイカがプレゼントされました。



なんと二一八人も参加



⇒外国人女性も参加

⇒女子選手も多数参加

(6)